

防カビコーティングのご提案

**防カビコーティングは住む方の健康と快適な住環境をお約束致します。
高い安全性と長期にわたる持続性を低価格で実現致します。
長年の実績豊富なプロが施工するので安心です。**

従来のカビ予防策の問題点

- カビの種類は6万5千種類とも7万種類とも考えられています。その中で解明されているものはわずかに4千数百種類にすぎないと言われています。
- 一旦カビ（コロニー）として目に見える姿となった場合には、10円玉大で50億から60億の胞子を発散すると言われていて、24時間毎に倍、倍に増殖していきます。
- 一時的にカビを除去しようとする際に使われる液剤により、全ての菌においてカビが耐性菌化してきているという厄介な傾向になってきているのです。
- このカビと菌の対策は避けて通ることのできない問題になると思われれます。
- 今まで、発生したカビを除去する為に様々な方法が試されてきました。次亜塩素酸ナトリウム等による対処が主として行われてきましたが、一時的に効果を発揮するだけで、実際には短期間の効力に留まったり、さらには、塩素耐性菌となってカビ発生のサイクルを短くしてしまいます

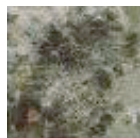
使用する防カビコーティング剤「アクアフィットンB」について



光触媒



A社製換菌コート



ヒノキチオール



炭系塗



ヤシガラ活性炭



触媒系コーティング剤



フェノール



アクアフィットンB

被体内容	7日	14日	21日	28日
他抗菌剤	1~2	2~3	3~4	4
アクアフィットンB	0	0	0	0

評価	黴の発育
評価0	黴の発育が全く見られない
評価1	僅かに菌の発育が見られる
評価2	少し発育がみられる
評価3	中間的な発育が見られる
評価4	激しい発育がみられる

**抗菌・防カビ作用があるといわれている他抗菌剤との比較
※51菌によるカビ抵抗性試験の結果→アクアフィットンBのみカビ発生せず**

アクアフィットンBの特徴

○施工性の良さ

- ・ 真菌、一般細菌、藻類に優れた効果を発揮
- ・ 揮発性有機化合物（VOC）対策、消臭などに優れた効果を発揮
- ・ 養生が不要で、スプレーやミスト器で噴霧するだけの簡単施工
- ・ 室内そのまま安心施工

○高い安全性

- ・ 公的機関の安全データ
- ・ 無機コーティングなので安全
- ・ 生活環境菌対策事業共同組合認定商品

○耐候性の良さ

- ・ 無機コーティングなので、酸化（劣化）の心配なし
- ・ 流出しにくい薬剤を使用しているため、効果が長期間持続

○低価格

- ・ 経済的な材料費
- ・ 施工が簡単なので施工時間の短縮・工事費の削減
- ・ 養生の費用もかからないので設計単価は非常に低価格

アクアフィットンBの適用可能性

○屋外:防汚・防カビ・防藻・防曇り

建築物外面、窓、壁、屋根、コンクリート、自動車、鉄道車両、バス、高速料金所、船舶、ガラス防汚、塩害防止

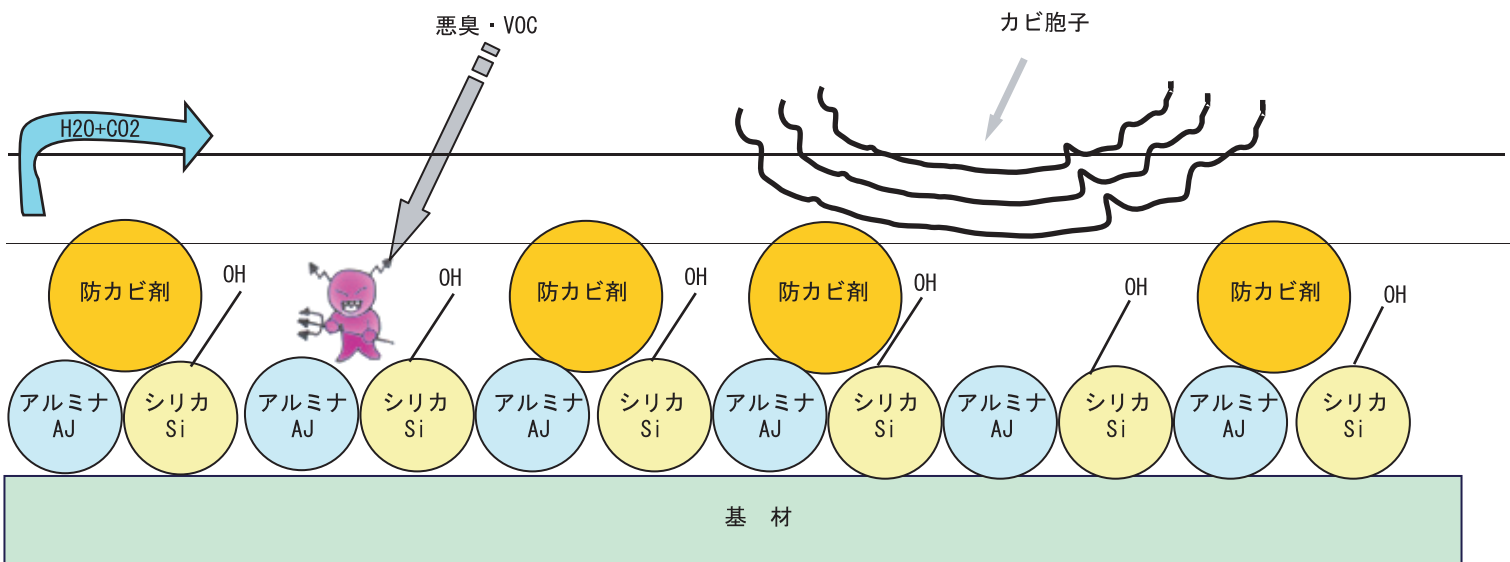
○屋内:抗菌・消臭・防汚・VOC対策・防カビ

食品工場内、タンク、商品配送所、病院、学校、一般住宅新築、リフォーム、介護施設、別荘管理、駅トイレ

○製品・建材

抗菌シート、防カビシート、衣類、ノンホルム、防カビボード、クロス、化粧合板、家具、じゅうたん

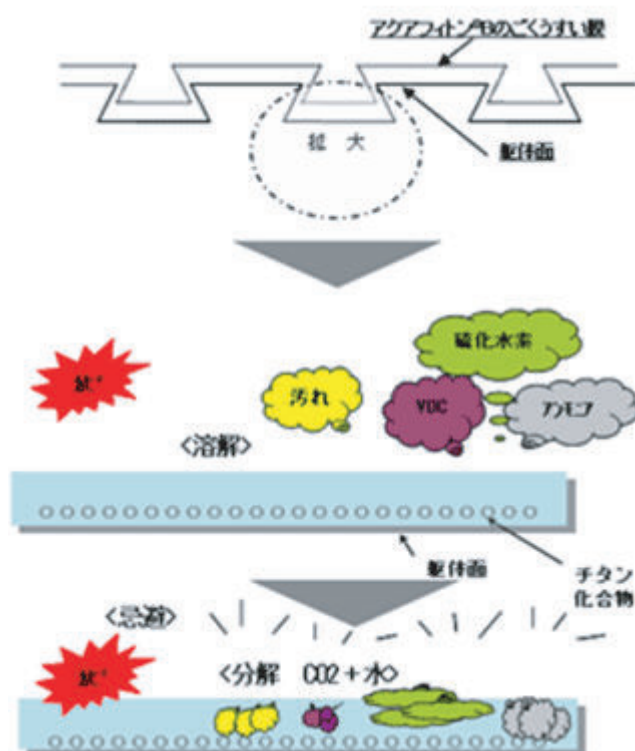
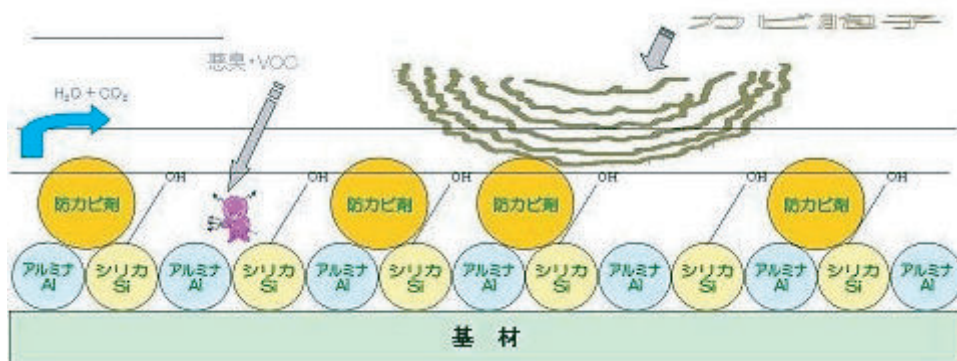
アクアフィットンBの防カビメカニズム



アクアフィットンBの上に悪臭成分が溶解し、破壊され、炭酸ガスと水になる。

カビの胞子は非常に大きいため、均一に固定した防カビ剤に接触し、コロニーを作ることができない

アクアフィトンBの分解メカニズム



形成されたアクアフィトンR膜は有効成分が分子レベルで分散し、アモルファス（一種のガラス状態）を形成します。光触媒で有効とされるチタン粒子とは比較にならない高分散型の触媒層が構成されます。

アクアフィトンR膜に付着している薄い水の膜には空気中の揮発性有機物質（VOC）やアンモニア、硫化水素などの悪臭成分が溶け込んでいきます。水であるからこそアンモニア、硫化水素というようなアルカリ性—、酸性物質両方を取り込むことが可能になります。この段階で空気中の臭いは除去されています。

溶解した悪臭成分や有機成分がチタンに接触することで悪臭物質等は水や炭酸ガスに破壊されます。この反応では光は必要ないので、夜間やダクト配管内部など暗所でも効果を発揮します